

最近の話題・トピックス

「患者中心のテーラーメイド外科診療」

外科 森 章

当院外科の診療体制と最近のトピックスについてご紹介申し上げます。

現在、久米真診療科長、森章准教授、川部篤准教授、中嶋早苗講師、上田大輔助教の5人で診療を行っています。診療対象疾患は、下記のごとく、外科基本疾患であるアッペ、ヘルニア、ヘモから胃癌、大腸癌、肝癌、膵癌まで多岐にわたります。

診療対象疾患

悪性疾患：食道癌、胃癌、結腸癌、直腸癌、GIST、肝細胞癌、胆管癌、胆嚢癌、膵癌、膵IPMN、転移性肝癌、など

良性疾患：胆石症、急性胆嚢炎、胆嚢ポリープ、胆嚢腺筋症、急性虫垂炎、大腸憩室炎、イレウス、急性腹症、潰瘍性大腸炎、クローン病、鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア、痔核、痔瘻、肛門周囲膿瘍、など

消化器疾患に対して、消化器内科と外科が協力して診断、治療にあたっています。毎週、合同検討会を行い、症例ごとに検査、内視鏡治療、IVR、手術適応を判断し、最新のエビデンスやガイドラインに基づいた治療法を速やかに提供しています。

1. 創が小さく早期に回復する腹腔鏡手術

低侵襲手術である腹腔鏡手術を積極的にとりいれ、患者の入院期間を短縮し、早期社会復帰が可能です。胃癌や結腸直腸癌患者のうち、安全性と根治性が確保できる適応症例に対して、リンパ節郭清を伴った腹腔鏡手術を行っています。胃癌に対して、腹腔鏡下幽門側胃切除術(LDG:Laparoscopic Distal Gastrectomy)の経験を重ね、2010年より腹腔鏡下胃全摘術(LTG:Laparoscopic Total Gastrectomy)を開始しました。また2010年より胆嚢摘出術において、臍に2.5cm切開創ひとつだけで行う単孔式腹腔鏡手術(SILS:Single Incision Laparoscopic Surgery)を導入し整容性に優れた患者に喜ばれています。

2. 根治をめざした拡大手術

肝癌、胆道癌や膵癌に対して、各種画像診断や病理診断を駆使し、局所進展度、リンパ節転移、遠隔転移を診断します。肝胆膵領域癌の手術は高侵襲ですが、根治性を追求できる症例に対して、

経皮経肝門脈枝塞栓術(PTPE:Percutaneous Transhepatic Portal Vein Embolization)後の拡大肝葉切除術や、門脈切除を伴った膵頭十二指腸切除術を安全に行っています。肝移植術は末期肝硬変や肝細胞癌患者に対する最終治療手段であり、患者や家族は、その可能性について知る権利があります。日本では2010年7月の改正臓器移植法施行後、脳死肝移植が増加したものの、依然、生体肝移植が大部分を占めています。今のところ当院では肝移植術を行っていませんが、患者や家族に対して、その保険適応、手続き、成績について京都大学での多数の経験をもとに具体的にご説明致します。

3. 最新の化学療法と分子標的治療

近年の消化器癌に対する化学療法の著しい進歩に伴い、症例に応じた化学療法を積極的に行うことで患者の予後や生活の質の向上が期待できるようになりました。術前化学療法、術後補助化学療法、切除不能進行再発癌等、治療法は多岐にわたるため、当院がん化学療法安全運用委員会にて承認されたプロトコルを用い、最新のエビデンスに基づいた治療効果と安全性の担保に努めています。2011年5月よりHer2陽性切除不能進行再発胃癌に対する2次治療として、ハーセプチンとパクリタキセル併用化学療法(認容性試験登録要:当院倫理委員会にて承認済)を開始し、奏効した症例を経験しています。現在、化学療法は患者の状態に応じて、外来通院や短期入院で行っています。

4. 安全安心のチーム医療

外科医師と外来、病棟、手術室看護師が連携し、術前から管理栄養士による栄養指導、歯科口腔外科診察、理学療法士による運動呼吸リハビリテーションを行い、感染症、肺塞栓症、無気肺、栄養障害などの術後合併症を予防し、早期回復(ERAS:Enhanced Recovery after Surgery)を実践しています。2011年11月より「がんのリハビリテーション」施設に認定され、癌患者の長期にわたるQOL向上をめざしています。

以上、最近のトピックスをご紹介させて頂きました。救急外来や緊急入院、緊急手術も受け入れております。手術患者を含め主に急性期医療を当科が担当させて頂き、術後長期フォローやQOL改善には、地域の先生方のご加療、ご支援を仰げればこそ、患者に安心して継続した医療を受けて頂くことが可能になります。「理性で疾患と闘い、心で患者を支える」をモットーに、患者中心の地域医療に微力ながら貢献させて頂く所存でございます。今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

村上記念病院 直通電話番号

脳卒中 ホットライン 070-6583-6677

脳卒中治療は一刻を争います。当院では専門医が速やかな診断・治療を行います。

年末年始休診日のお知らせ

年末年始は、下記のとおり休診いたしますので予めご了承下さい。

| 平成23年12月 | | | 平成24年1月 | | | | |
|----------|--------|--------|---------|-------|-------|-------|-------|
| 29日(木) | 30日(金) | 31日(土) | 1日(日) | 2日(月) | 3日(火) | 4日(水) | 5日(木) |
| 通常どおり | 休診 | 休診 | 休診 | 休診 | 休診 | 休診 | 通常どおり |

救急・急患の場合は、この限りではありません。





診療医のご案内



(平成23年12月1日現在)

| 診療科 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----------|-----|------------|--------------|-------------|----------------|--------------|-----------------|
| 消化器内科 | 初診 | 福田 | 加藤(隆) | 下村 (非常勤) | 大洞 | 中村 | 宮脇 遠藤 |
| | 予約診 | 小島 | 大洞 | 小島 | 加藤(隆) | 奥田 | 加藤(隆) |
| | 予約診 | 森本 | 中村 | 宮脇 | 伴 | 福田 | — |
| | 予約診 | — | 遠藤 | — | — | — | — |
| 循環器内科 | | 瀬川 | 加藤(周) | 瀬川 | 加藤(周) | 大野 (腎臓内科) | 担当医 |
| | | 三輪 | 大野 (腎臓内科) | 三輪 | 松岡 (非常勤) | 早川 (非常勤) | — |
| 腎臓内科 | | 大橋 | — | 大橋 | 泉 | — | 大橋 |
| 糖尿病・内分泌内科 | | 猿井 — | 武田 猿井 | 武田 佐々木 | 猿井 佐々木 | 猿井 武田 | 武田 佐々木 |
| 呼吸器内科 | | 野木 | 栗林 | 舟口 (非常勤) | 三上 | 栗林 | 野木 |
| 外科 | | 森 | 久米 | 久米 | 中嶋 | 川部 | 担当医 |
| | | 上田 | 川部 | (上田) | 森 | 中嶋 | 山本 (第2・4週目) |
| 乳腺外科 | | 細野 | 細野 | 安部 (非常勤) | 細野 | 細野 | 細野 (予約制) |
| 脳神経外科 | | 石澤 | 郭 | 山下 | 石澤 | 安藤 | 郭 |
| | | 安藤 | 加納 辻本 | 安藤 | 辻本 | — | 加納 山下 |
| 整形外科 | 初診 | 日下・河合 | 青芝/山賀 | 塚田 | 後藤(毅) | 前田 | 担当医 |
| | 予約診 | — | — | 前田 | 河合 | 大友 | — |
| | 予約診 | — | 今泉 | 日下 | 山賀 | 日下 | 今泉 (第1・3週) |
| | 予約診 | 後藤(毅) | 塚田 | 青芝 | 塚原 | 今泉 | 塚原 (第2週) |
| 眼科 | 初診 | 高橋 | 矢田 | 矢田 | 矢田 | 高橋 | 矢田 (1・3週目) |
| | 1診 | 堀尾 | 奥村 (非常勤) | 磯部 (非常勤) | 堀尾 | 奥村 (非常勤) | 高橋 (2・4・5週目) |
| 泌尿器科 | | 江原 | 伊藤 (非常勤) | 江原 | 江原 | 江原 | — |
| 婦人科 | | 藤本 | — | 安田 (非常勤) | 藤本 | 藤本 | — |
| 歯科・口腔外科 | | 村松・本橋 — | 村松・本橋 田村 | 村松・本橋 田村 | 村松・本橋 田村・本間 | 村松・本橋 田村 | 村松・本橋 田村 |

[ご案内] ●診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)

●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。